

宇都宮民報

発行
日本共産党
宇都宮市委員会
弥生1丁目7-11
旭コーポ1階
634-8722



日本共産党発行
日 700円 3497円
日 600円 823円
県内の市民団体や労働組合などでつくる実行委員会が、福島原発事故の翌年から開催、

宇都宮城址公園に「原発なくせ」の熱気

第4回 さようなら原発栃木アクション11.15



日本共産党の隊列左から小池、おくだ、荒川、福田の各氏

『この栃木の地から一人一人が脱原発の意思を示すために集まろう』
原発ゼロをめざす「さようなら原発！栃木アクション11・15」は15日、宇都宮城址公園で開かれ、過去最高の2,300人が参加しました。

今回で4回目。参加者は、東京電力栃木支局前を通り、宮の橋までパレードしました。
集会で、大木一俊実行委員長（弁護士）は、原発再稼働を進める安倍政権を痛烈に批判しました。また、俳優の木内みどりさん、絵本作家のいわむらかずおさんから6人がトークしました。

16歳の七田千沙さんは「原発なくすことは民意に込めることです。その実現を求めていきます」と話し、参加者の大きな共感をよんでいました。

集会後のパレードでは、日本共産党の隊列の先頭に、おくだ智子参議院比例予定候補、小池一徳同栃木選挙区予定候補が歩きました。日本共産党の野村せつ子県議、荒川つねお・福田両市議もともに歩きました。



「決めつけないで！」 多様な性について話せる環境を

S P E C 講演会

性同一性障害の当事者や家族でつくるS P E C(エスペック)が毎年開いている講演会に荒川・福田両市議が参加しました。

今年も、「子どもと接する人のLGBT基礎講座」ということで、LGBTの若者支援や自殺予防にかかわり、「やっぱり愛ダホ！idahonet」呼びかけ人代表でもある、遠藤まめた氏を講師に招き開催、約50人が熱心に講義を聴いたり、ワークショップに参加しました。

題と言えます。

遠藤まめたさんは、自らが立ち上げた支援団体「いのちリスケット。ホワイトリボンキャンペーン」で、2014年5月に独自に「LGBTの学校生活実態調査」を行いました。この調査結果からは、LGBTの子どものうち約1割が、カミングアウトをめぐる困難、蔓延している「ホモネタ」についてなど明らかにされました。

【LGBTとは？】
レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーの頭文字をとったもので、性的マイノリティーの総称のひとつ

今年4月、文部科学省は、全国の小中学校・高校に、LGBTの子どものために配慮を求める通知を出しました。

2014年6月、同省が初めて行った実態調査の結果が公表されました。それによれば、身体的な性別に違和感を持ち、学校に相談した児童生徒は少なくとも606人在籍していることが判明しました。

民間の調査でも性的マイノリティーに該当する人は、7.6%（13人に1人）との結果もあり、身近な問

例えば、LGBTの当事者の多くは、高校生までに自身の性のあり方について自覚しますが、男子5割、女子3割は、だれにもそのことを打ち明けていませんでした。その中でも、教師や親など「周囲の大人」に打ち明けたのは、1から2割程度で、大人からは当事者の子どもたちの姿が見えにくくなっており、そのことがいじめも見えにくくなってきているなどが伺えます。

こうした実態を踏まえ、学校では、性の多様性に関する肯定的なメッセージや、保健室や図書館などにLGBTに関するポスターやチラシを日常的に置くなどして、「安全な場所」だということを伝えるなどを呼びかけています。

また、市政での課題も見えてきました。

Voters Bar in宇都宮

～若者と政治家の気軽な交流会～ に福田くみ子市議が参加



若者と政治の接点づくりをテーマに活動を行っているNPO法人「Youth Create」と共同で、地方議員と若者の気軽な飲み会交流イベント「Voters Bar in宇都宮」が開催され、宇都宮市議の福田くみ子（共産）・福田智恵（市民連合）・山崎昌子（自民）・郷間康久（統一）の各氏が参加。約20名の若者に、議員になったきっかけや、政治家を目指した理由、やりがいなどを語り、交流をしました。

パネルトークでは、自己紹介と合わせて「今、議員として最もやりたいことは？」と問われた福田くみ子議員は、

「市民の声をちゃんと聴く市政にしたい。地方自治は、民主主義の学校と言われています。議員の数の力だけで暴走する宇都宮市政に、市民の声が届く民主主義を根付かせたい」と答えていました。

後半のワールドカフェでは、数人のグループでテーマごとの自由な交流が行われ、若者の率直な質問にわかりやすく答えていました。

参加して感想を問うアンケート結果では、前回の選挙に行った人が39%でしたが、次の選挙には行くと答えた人が78%と大幅アップしました。

「政治家の人となりが分かった」「政治家としての思いに共感できた」などの感想も寄せられています。

ワールドカフェで交流する参加者の皆さん。左手前のテーブルで若者の疑問や質問に答える福田議員

福田くみ子議員は、「18歳選挙権は、来年7月の参議院選挙からです。主権者としての教育の充実が求められている中、こうした取り組みは、大変期待されているのではないかと感じています。」と感想を述べていました。

第22回

医療生協健康まつり ひらく

健康づくり レインボー体操を行う医療生協組合員の皆さん



11月15日、協立診療所（宝木団地前）を会場に第22回医療生協健康まつりが行われ、950人の参加者は、思い思い、催し物を楽しみました。

上三川町議選

日本共産党から現職（7期）

稲葉弘さん（64歳）



上三川町議選は、12月22日告示、27日投票日で行われます。ご支援をお願いします

【連絡先】

いなば弘事務所
上三川町上蒲生2176-3
TEL 0285-38-8816
日本共産党中部地区委員会
TEL 028-634-8722

来年度市予算編成に向けて
要望・願いをお寄せください

日本共産党宇都宮市議員団では、来年度予算編成に向けて、市政への要望書を提出します。市民の皆さんの要望を市政に届けましょう。具体的な改善箇所などについては地図などもつけて、Faxなどで市議会控室までお寄せください。締切は11月末です。

【党市議員団控室】

Fax 632・7753
電話 632・2622



日本共産党宇都宮市議員団 定例無料

市政・法律なんでも相談会

雇用問題・多重債務・生活保護・年金・国保・住宅
道路・交通安全・その他なんでも・・・

日時 12月12日（土）午後2時～4時
会場 宇都宮市コミュニティセンター 第2創作室

連絡先 日中 TEL632-2622（党市議員団控室）
土・日・夜間 TEL634-8722（党市委員会）

1月の相談会は休ませていただきます。相談ご希望の方はできる限り事前にご連絡をお願いします。
秘密厳守します。弁護士が協力します。